

# Sustainability Report 2026

Hokuriku Coca-Cola Bottling Co.,Ltd.

みんな、  
つながってる。



*Coca-Cola*

HOKURIKU COCA-COLA  
BOTTLING CO.,LTD.

## INDEX

	<b>■ イントロダクション</b>
02	経営理念とビジョン
03	トップメッセージ
04	北陸コカ・コーラグループ 事業概要
05	北陸コカ・コーラグループ 拠点一覧
	<b>■ サステナビリティについて</b>
06	コカ・コーラシステムのサステナビリティ
07	2025年 サステナビリティ 主な活動のサマリー
	<b>サステナビリティ</b>
08 - 14	■ 環境
15 - 22	■ 人と社会
23 - 25	■ 健康とウェルビーイング
26 - 27	■ 北陸コカ・コーラプロダクツ(株) 砺波工場
28	■ 沿革

### 【編集方針】

本レポートは、日本のコカ・コーラシステムのサステナビリティに対する考えを示し、またそれに基づく具体的な当社グループの活動内容や取り組みをわかりやすく紹介し、みなさまからのご意見をいただき、持続可能な活動につなげることを目的に発行しています。

### 【対象期間】

2025年1月1日～2025年12月31日 ※活動内容の一部は2026年も含まれます。

## 経営理念

**私達は、リフレッシュメントの提供を通じて社会に大きな価値を提供し続けます。**

## 経営ビジョン

- 働く喜びが実現でき、元気ある企業を目指します。
- それぞれが自立し、純粋に価値創造を追求し、常に進化発展し続けます。

## 社訓

創意 … アイディア

奉仕 … サービス

勇気 … ファイト

## 大切にしている3つのもの

- ① **仕事を通じて社会に提供している価値**
  - リフレッシュメントの質と量を高めていく
- ② **お客様**
  - お客様に楽しんでいただく、喜んでいただくこと
- ③ **仲間**
  - 製品に携わる全ての仲間を大切にする

### 【用語について】

■「ボトラー社」は、全国5つのボトラー社を指します。

(北海道コカ・コーラボトリング株式会社、みちのくコカ・コーラボトリング株式会社、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社、北陸コカ・コーラボトリング株式会社、沖縄コカ・コーラボトリング株式会社)

■「コカ・コーラシステム」は、グローバルに事業を展開するコカ・コーラ社を指します。

■「日本のコカ・コーラシステム」は、日本コカ・コーラ株式会社および全国5つのボトラー社と関連会社を指します。

■「お客様」には、製品を購入いただいた方のみならず、すべての生活者が含まれます。

本レポートに関するお問い合わせ先:

北陸コカ・コーラボトリング株式会社 経営サポート推進室 広報課 0766-31-1115 (代表)

<https://www.hokuriku.ccbc.co.jp/>

## TOP MESSAGE

**私たちは、リフレッシュメントの提供を通じて地域社会と深く結びつき、環境に配慮しながらお客様に満足と“さわやかさ”をお届けします。**

当社の創業以来培ってきた経営理念『私達は、リフレッシュメントの提供を通じて社会に大きな価値を提供し続けます』は、まさに持続可能な社会の実現と深く連動しています。私たちは、清涼飲料の製造・販売という事業を通じて、リフレッシュメントを提供することで、社会の発展に貢献してまいりました。本レポートでは、当社の事業活動が環境・社会・ガバナンス（ESG）の各側面においてどのように貢献し、未来に向けた価値創造へと繋がっているのかをご紹介します。

2025年度、私たちは、持続可能な社会の実現に貢献するため、以下の点を重視し、活動を推進してまいりました。

### 地域社会への貢献

- ❖ 能登半島地震の経験を活かし、災害発生時の迅速な飲料水提供や備蓄等の防災への協力など、地域への貢献と責任ある行動を継続
- ❖ 行政や企業と共にカーボンニュートラルを目指し、サステナブルな地域社会の発展のため、環境への取組活動を継続

### 継続的で確かな成長

- ❖ 労働環境の改善と働きがい向上を目指す取り組みの推進
- ❖ 社員の成長を通じて、持続的で確かな成長を追求

### 働き方と仲間意識

- ❖ 多様性を認め、一人ひとりが特性や強みを活かして最大限のパフォーマンスを発揮できる DE&I（多様性、公平性、包摂性）の推進
- ❖ 社員とその家族が健康で笑顔で生き生きと働くことが出来るような取り組みの推進

特にカーボンニュートラルへの取り組みにおいては、コカ・コーラシステムが掲げる 2035 年に向けた GHG 削減目標達成のため、ロードマップを策定し、水資源、容器、気候変動に関連するそれぞれの目標に関して活動を継続します。長年継続してきた植林活動や環境活動は、新たなフェーズへと移行し、持続的な成長と社会貢献を両立してまいります。



北陸コカ・コーラボトリング株式会社  
代表取締役会長

稲垣 晴彦



北陸コカ・コーラボトリング株式会社  
代表取締役社長執行役員

井辻 秀剛

# 北陸コカ・コーラグループ 事業概要

地域に根ざしたリフレッシュメント創造企業を目指し、富山、石川、福井、長野県の皆さまに“さわやかさ”をお届けしています。

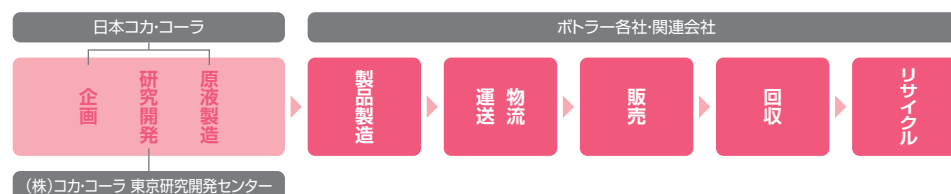
商号 / 北陸コカ・コーラボトリング株式会社  
 HOKURIKU COCA-COLA BOTTLING CO.,LTD.  
 本社所在地 / 〒933-0397 富山県高岡市内島3550番地  
 会社設立日 / 1962年(昭和37年)6月5日  
 資本金 / 1億円  
 売上高 / 393億4500万円(2025年実績)  
 代表者 / 代表取締役会長 稲垣 晴彦  
 代表取締役社長執行役員 井辻 秀剛  
 従業員数 / 361名(2026年3月現在 正社員のみ)  
 事業内容 / 清涼飲料の販売  
 グループ会社 / 株式会社ベネフレックス  
 北陸コカ・コーラプロダクツ株式会社  
 株式会社なぶーる

【協力会社】  
 GRN株式会社、GRNエンジニアリング株式会社、GRNエコサイクル株式会社、  
 若鶴酒造株式会社、株式会社イオリ、株式会社リラックス、有限会社ウイック、  
 GRNテクノソリューション株式会社

【関係会社】  
 双爽コーポレーション株式会社、さわやかリテールサポート株式会社



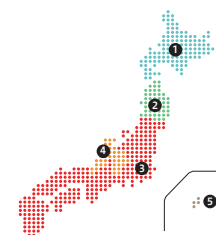
## 日本のコカ・コーラシステム



日本のコカ・コーラシステムは、原液の供給と製品の企画開発やマーケティング活動を行う日本コカ・コーラ株式会社と、製品の製造・販売などを担う5つのボトラー会社および関連会社で構成されています。

## 日本のボトリングパートナー

- ① 北海道コカ・コーラボトリング株式会社
- ② みちのくコカ・コーラボトリング株式会社
- ③ コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社
- ④ 北陸コカ・コーラボトリング株式会社
- ⑤ 沖縄コカ・コーラボトリング株式会社



## 数字で見る北陸コカ・コーラグループ

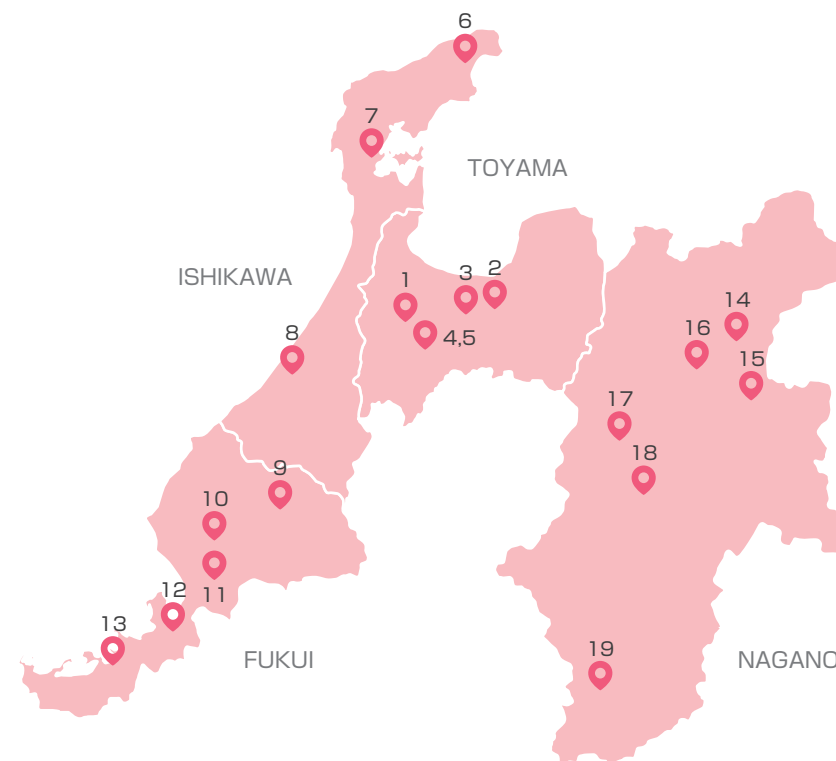
<p>展開する製品数 約250</p>	<p>展開するブランド数 約30</p>	<p>事業所拠点数 19カ所</p>
<p>年間販売数 約2,430万ケース</p>	<p>自動販売機設置台数 約29,000台</p>	<p>取扱店舗数 約14,500軒</p>



## 北陸コカ・コーラグループ 拠点一覧

1	本社	933-0397	富山県高岡市内島3550
2	富山MSC 富山支店	931-8435	富山県富山市小西171-1
3	コラボレーション オフィスTOYAMA	930-0858	富山県富山市牛島町9番5号 Dタワー富山2F
4	砺波工場	939-1401	富山県砺波市東保1202-1
5	砺波LC	939-1401	富山県砺波市東保1202-1
6	珠洲事業所	927-1228	石川県珠洲市宝立町柏原西17
7	能登事業所	929-2222	石川県七尾市中島町中島二部1番4
8	石川MSC 石川支店	924-0855	石川県白山市水島町480
9	奥越事業所	911-0814	福井県勝山市若猪野25字下陰山3-5
10	福井MSC 福井支店	918-8025	福井県福井市江守中町7号26-1
11	福井LC	915-0861	福井県越前市今宿町18号1
12	敦賀事業所	914-0814	福井県敦賀市木崎5号北ザマナシ18-1
13	小浜事業所	917-0232	福井県小浜市東市場34号村上7-1
14	長野MSC 長野支店	382-8585	長野県須坂市大字井上字砂田1700-8
15	東信事業所 東信支店	389-0514	長野県東御市加沢字原1406-1
16	更埴LC	387-0023	長野県千曲市八幡3170
17	安曇野事業所	399-8204	長野県安曇野市豊科高塚1178-1
18	松本LC 松本支店	399-0702	長野県塩尻市大字広丘野村3015
19	飯田事業所	395-0155	長野県飯田市三日市場1166-2

● MSC…マーケットサービスセンター ● LC…ロジスティクスセンター



※2026年4月時点

## コカ・コーラシステムのサステナビリティ

サステナビリティは、私たちの事業のあらゆる側面に取り入れられており、未来の成長に欠かせない要素といえます。

これらの取り組みを通じて、コカ・コーラの使命である

『Refresh the World. Make a Difference. (世界中にさわやかさを提供し、前向きな変化をもたらすこと)』の実現を目指しています。

### Refresh the World. Make a Difference.

私たちは、世界中で愛されるブランドや、丹精込めて作り上げている様々な飲料を通じ、心身ともに人々をうるおし、さわやかさを提供してまいります。

より明るい未来を築くべく、持続可能なビジネスの実現を通じ、あらゆる人々の生活、地域社会、そして地球にとって前向きな変化をもたらすことを目指します。



#### 環境

コカ・コーラシステムは、持続可能な社会の実現に向けて、容器のリサイクル推進、水資源の保全、温室効果ガス排出量の削減など、資源の循環利用や環境負荷の軽減に取り組んでいます。私たちは、ビジネスを通じて前向きな変化をもたらし、地球にとってより持続可能な未来を築くことを目指しています。



#### 人と社会

私たちのすべての活動の中心には「人」がいます。従業員やビジネスに関わるすべての方々、そして拠点を置く地域社会に至るまで、すべての人が重要です。ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン( DEI)の重視や人権の尊重を企業活動の基本とし、地域社会との関わりを通じて、事業を展開する地域にポジティブで具体的な変化をもたらすことを目指しています。



#### 健康とウェルビーイング

私たちは人々の暮らしに寄り添い、健康を最優先に考え、健康で豊かな未来の実現に貢献しています。コカ・コーラシステムは、トクホ(特定保健用食品)や機能性表示食品のラインナップを強化しています。また、適正飲酒の啓発にも取り組んでいます。

## 2025年 サステナビリティ 主な活動のサマリー



### 環境



- ボトルtoボトルの推進、行政・民間との回収スキーム構築 (GRNエコサイクル)
- 水源涵養活動 (北陸コカ・コーラ「うるおいの森づくり」活動、水の日工場見学、富山県との共催「森と地下水の環境観察会」の開催)
- 砺波工場の取り組み
- 容器リサイクル処理 (GRNエコサイクル)



### 人と社会



- 男性育休取得率100%を実現
- 女性の健康と活躍推進
- 全社一斉美化奉仕活動 (2025年6月7日、全22拠点にて約570人の従業員と家族参加)
- 地域ボランティア (富山県射水市六渡寺の海岸清掃)
- 出前講座 (水分補給・ものづくり・リサイクル)
- 地域スポーツへの支援
- 能登半島地震への対応



### 健康とウェルビーイング



- 健康経営の推進
- CokeONウォークイベントの実施
- シニア向け運動教室の開催
- 専門職の配置と支援体制の強化
- 地域の皆様との健康に関する勉強会の開催
- 北陸コカ・コーラボトリングの製品ポートフォリオ

## 環境 容器/水資源/気候変動

コカ・コーラシステムは、環境、地域社会に関する重要な課題に対し、ビジネスを通じて前向きな変化をもたらし、さわやかさを届けながら、未来を共創していくことに責任を持って取り組みます。

### 容器

私たちは、PETボトルやアルミ缶、ガラス瓶など、多様な容器で飲料を提供しており、それぞれが容器廃棄物および温室効果ガス(GHG)排出量の削減において重要な役割を果たしています。使用済み容器の回収率向上を支援し、製品に使用する主要な容器におけるリサイクル材料の使用比率を高めることに注力しています。これらの取り組みを促進するためには、多様なステークホルダーとの連携が不可欠です。

### 設計

2035年までに、製品の一次容器(プラスチック、ガラス、アルミニウム)に35%~40%のリサイクル材料\*を使用することを目指しています。この目標には、世界で使用するプラスチックに30%~35%のリサイクル素材を使用することが含まれます。

\*当社は、リサイクル材料含有率のより高い基準が求められる地域を含む、すべての地域において現地の規制を遵守します。



日本のコカ・コーラシステムでは、使用済みのPETボトルを回収して新たなPETボトルに再生する「ボトルtoボトル」水平リサイクルを推進し、100%リサイクルPETボトルを導入しています。



### パートナーと連携した回収

2035年までに、ボトルや缶の年間供給量のうち70%~75%に相当する量を確実に回収できるよう、取り組みを推進します。



石川県白山市にあるグループ会社のGRNエコサイクル株式会社では、回収した空容器の分別、圧縮、再資源化を行っています。

コカ・コーラシステムは、2つの柱を軸に、相互に関連する取り組みに注力し、具体的で測定可能な成果の実現を目指しています。

● 容器

容器の回収／処理

PETボトルの回収から粉碎(フレーク化)までをグループ会社で内製化

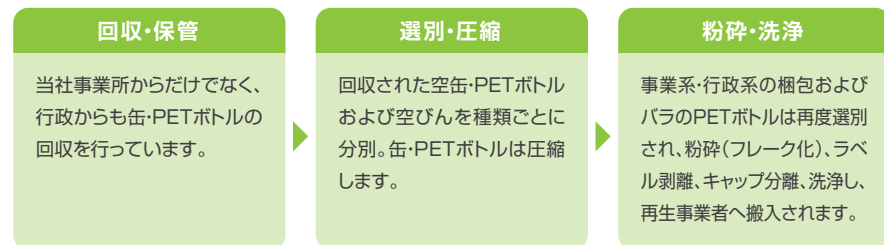


飲料を扱う企業責任として、2002年よりグループ会社のGRNエコサイクル株式会社(石川県白山市)で容器のリサイクル事業を発足し、回収した空容器の分別・圧縮・再資源化を20年以上に渡り行っています。北陸エリアでは数少ないPETボトルの粉碎(フレーク化)までを行う中間処理施設となっており、公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会のPETボトル再商品化事業者として認可されています。

GRNエコサイクル株式会社(石川県白山市)

HPIはこちら ▶ <https://www.grn-company.com/>

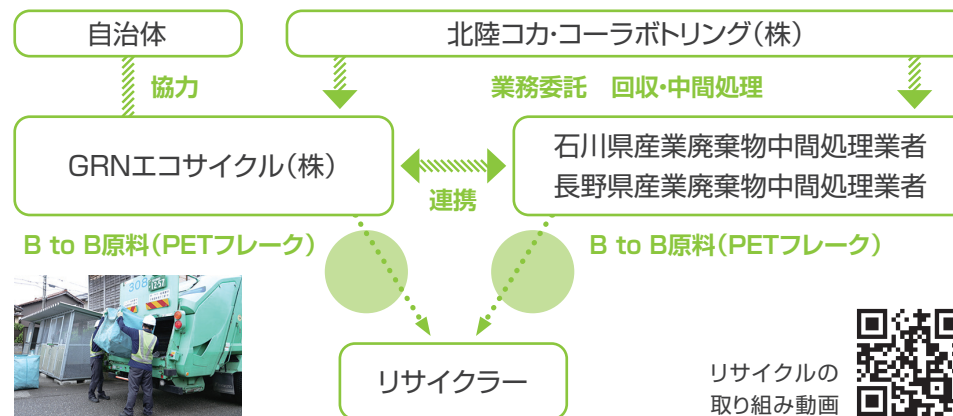
リサイクルの流れ



リサイクルパートナー

ボトルtoボトル(B to B)を促進し、水平リサイクルの実現へ

GRNエコサイクル株式会社が直接回収したPETボトルだけでなく、地元自治体と協力し、家庭から排出されたPETボトルも再資源化しています。また、石川県・長野県の産業廃棄物中間処理業者と連携・業務委託をし、安定的なリサイクルPETボトル原料の供給を進めています。



リサイクルの  
取り組み動画



「環境配慮設計認定制度」において、コカ・コーラ社製品が認定

2026年2月、環境負荷低減に資する設計が特に優れた製品を対象とする、経済産業省「環境配慮設計認定制度」において、コカ・コーラ社の複数のPETボトル製品が認定を受けました。本制度は、プラスチック使用製品の設計段階から資源循環を促進することを目的とし、容器の軽量化、再生材の使用、リサイクルしやすい設計などの観点から、製品を総合的に評価するものです。今回の認定は、コカ・コーラ社がこれまで継続して取り組んできた、PETボトルの軽量化、再生PET素材の活用、ラベルレス製品の展開といった容器設計における環境配慮の取り組みが評価されたものです。



## 容器

### 新型リサイクルボックスの設置

容器の水平リサイクルを推進するために2025年4月に石川県金沢市の繁華街を中心に新型リサイクルボックスへの交換設置を実施しました。金沢市では国内外からの旅行者が急増し、観光地では賑わいをみせている一方、オーバーツーリズムも課題としております。新型リサイクルボックスには多言語表記のPOPも取り付け、異物混入を削減し、まちの課題解決にもつなげます。

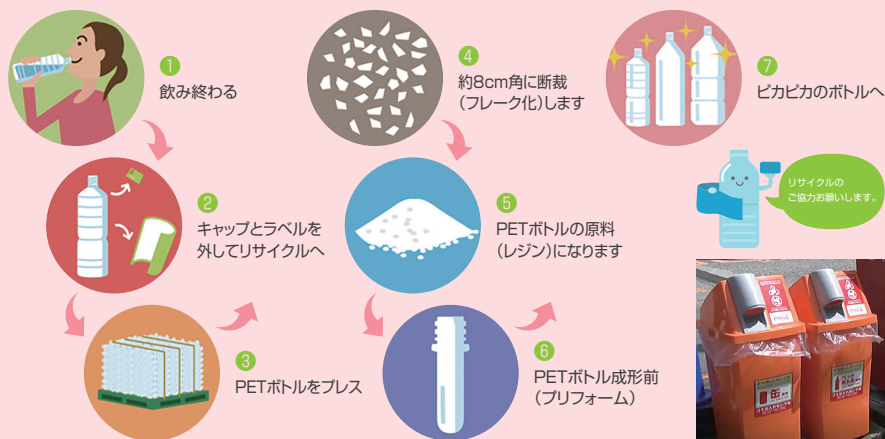
北陸コカ・コーラボトリングとGRNエコサイクル社にて効果を検証していきます。

### 3分別の必要性

飲み終わったペットボトルをキャップ/ペットボトル/ラベルと正しく分別することで、リサイクル品質が上がり、環境負荷低減に貢献することができます。

### キャップとラベルは分別して綺麗なペットボトルを回収機へ

#### 使用済みペットボトルが新しいペットボトルになるまで



### 減容機の展開

独自で開発した減容機の設置を開始しました。

減容機は飲み終わったペットボトルのキャップとラベルを分別し、ペットボトル本体を減容機で踏みつぶし、圧縮してボックス内に投入する仕様です。

使用済み容器の回収率向上を目指し、製品に使用する容器におけるリサイクル材料の使用比率を高めることに注力していますが、これらを推進するためには多様なステークホルダーとの連携が不可欠です。

利用者の日頃からの分別意識にもつなげ、ペットボトル回収率と再資源化によるリサイクル比率の向上を目指します。



減容機

### 富山第一高校の事例



富山第一高校の生徒がデザインしたオリジナルの減容機



富山第一高校では、減容機であつめたペットボトルキャップから反射材グッズを制作し、同校に2,000個贈呈しました。



## 水資源

水は、私たちの製品の多くに含まれる最初の成分であり、事業活動や地域社会の健全な運営に欠かせない重要な資源です。私たちは、水の使用効率を向上させるとともに、安全な水を適切に処理して地域社会に還元するため、事業全体を通じて責任ある水資源管理を推進しています。

### うるおいの森づくり

1962年の創業以来、ふるさとの豊かで良質な地下水の恩恵を受け、清涼飲料の製造・販売を行っています。この豊かな水の恩恵に感謝し、次世代に確実に残していかなければならないと考え、2005年より砺波工場の水源である庄川水系の山間で植林活動を20年以上続けており、今後も継続して活動してまいります。



#### [うるおいの森 活動実績]

延べ参加者数	6,142人
植林面積	8.79ha
植林本数	15,931本

2025年10月末現在



◀ これまでの活動内容をまとめた動画  
<https://youtu.be/Eu5BRcd6Wgc?si=Rij5T2NuMn8Cnb53>

### い・ろ・は・す「水源保全プロジェクト」

「い・ろ・は・す」の全国8ヶ所の採水地をはじめとした全国23ヶ所の水源保全などの活動を行う団体に、公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団を通じて、「い・ろ・は・す」の売上の一部を寄付し、水資源の保護活動を支援しています。

#### [2025年度 寄付金額]

団体名		寄付金額
富山県	富山県(富山県農林水産部森林政策課)	92,234円
石川県	公益財団法人 石川県緑化推進委員会	107,566円
福井県	公益社団法人 福井県緑化推進委員会	65,077円
長野県	長野県(長野県林務部森林政策課)	87,586円
合計		352,586円



とやまの清らかな水環境・豊かな水資源を保全しつつ、その素晴らしさを県内外にPRするため、富山県と公益財団法人とやま環境財団と協働で「水の王国とやまプロジェクト」を立ち上げ、協議を進めています。

● 水資源

「うるおいの森づくり」継続のため  
「庄川水系森林環境保全協定」更新の調印式

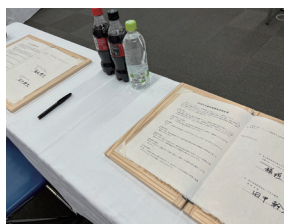
本協定は、庄川水系の森林環境保全を目的として、2005年8月23日に南砺市と当社が締結したものです。有効期限満了に伴い、さらなる森林の育成・保全に向けた取り組みを継続する必要があるとの認識のもと、南砺市と合意し、協定を新たに10年間更新することとなりました。

調印式では、当社のこれまでの取り組みと今後の方針について説明し、田中南砺市長と稲垣会長による調印が行われました。

水資源を守りたいという想いから始まった森づくり。今後の10年はその意識を広め、また森林は育てるだけでなく活かすことも重要と考え、この活動を次世代へつなぎ地域の大切な宝を守り育てていきます。



調印式



協定書



「水の王国とやまプロジェクト」始動

2025年8月29日、富山の豊かで美しい「水」を中心とした自然環境を守り、次世代へと引き継いでいくことを目的として、(公)とやま環境財団と富山県、北陸コカ・コーラが2026年度より「水の王国とやまプロジェクト」新事業として立ち上げました。

砺波工場で製造した「い・ろ・は・す 砺波の天然水540PET」の製造数に応じて積み立てた寄附金を(公)とやま環境財団へ寄附し、県内のボランティア団体等に助成金として使用され、清らかな水環境・豊かな水資源が将来にわたって保全・活用を目的として使用されます。

なお、10月11日にはとやま環境フェア2025で、「水の王国とやまキックオフイベント」を行い、全国各地のい・ろ・は・すの飲み比べを行い、イベントを盛り上げました。



目録贈呈式



とやま環境フェア  
2025

とやまの森づくりCO<sub>2</sub>吸収・固定量認証制度

「うるおいの森づくり活動」と「富山県産材の木材をふんだんに使用(4.3㎡)した、高岡本社にあるWork&リフレッシュメントスペース」が、富山県がすすめている「とやまの森づくりCO<sub>2</sub>吸収・固定量認証制度」に認められました。

この制度は、森づくり活動を行う企業や団体および市町村が整備する森林の二酸化炭素の吸収量や、木材利用による炭素固定量を数値化し認証する取り組みで、森づくり活動や県産材利用が促進されることにより、富山の森林の多面的機能を高めるとともに、地球温暖化防止に貢献しています。



とやまの森づくりCO<sub>2</sub>吸収・固定量認証書交付式



CO<sub>2</sub>吸収  
量認証書



炭素固定  
量認証書

気候変動

気候変動に対応するため、十分な情報に基づいた決断力のある行動を取ることは、コカ・コーラシステムにとって最優先事項です。気候変動は、私たちのビジネスやステークホルダーにリスクをもたらします。そのため、持続可能性に関する課題に対して連携したアプローチを図り、コカ・コーラシステムで温室効果ガス(GHG)排出量の削減に取り組むとともに、ビジネス、バリューチェーン、そして地域社会のレジリエンスの強化に努めています。

温室効果ガス削減への取り組み

私たちは、2019年を基準年とし、2035年までに、気温上昇を1.5℃以内に抑える目標に沿ったスコープ1、2、3の排出量の削減を目指します。この目標を達成するためには、新しい技術や再生可能エネルギーへのさらなる投資に加え、各ボトラー社やサプライヤーと協力し、それらの直接的な排出量の削減に取り組むことが重要です。



スコープ 1

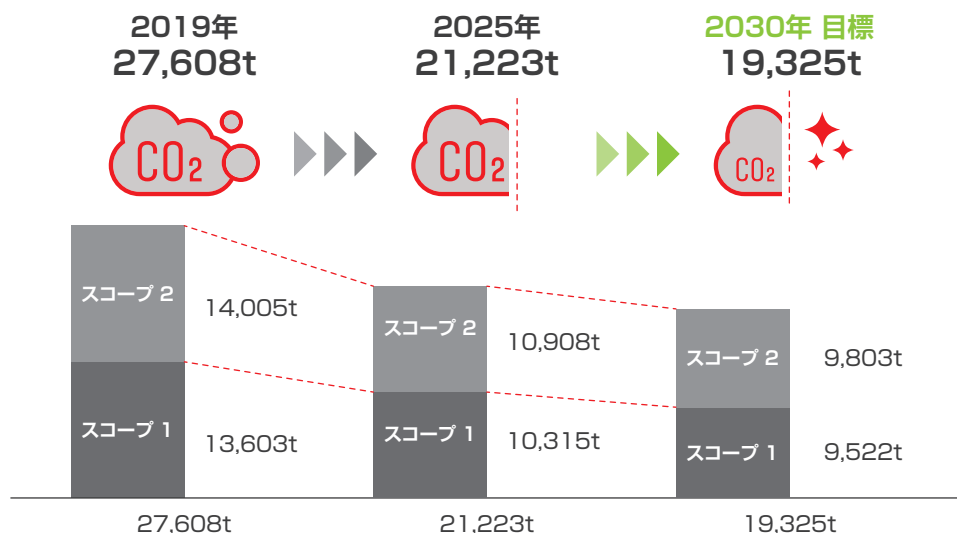
自社による温室効果ガスの直接排出



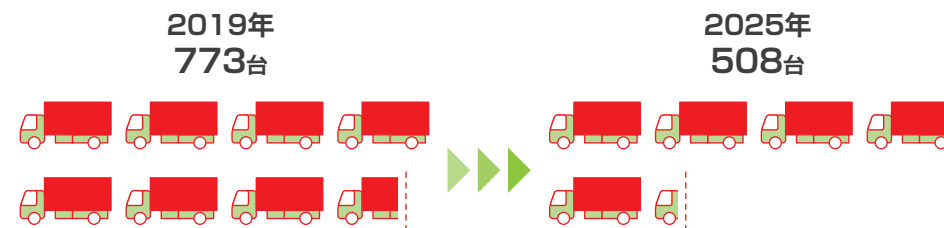
スコープ 2

他社から供給された電気・熱の使用に伴う間接排出

【CO<sub>2</sub>排出量の現状 (2019vs2025)】



【車両台数 (2019vs2025)】



事業所数の集約

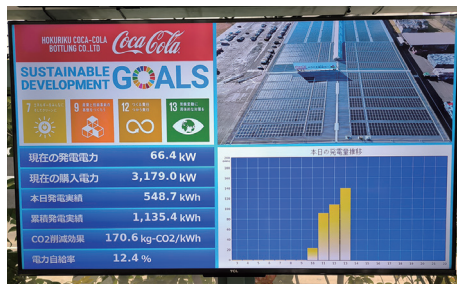
- ・黒部事業所を閉鎖
- ・諏訪事業所、伊那事業所を閉鎖し、松本ロジスティクスセンターに統合



## 気候変動

### 砺波工場における太陽光発電

広大な工場の屋根を活用し、北陸コカ・コーラボトリングは2025年3月に北陸電力ビズ・エナジーソリューション株式会社と太陽光発電オンサイトPPAサービス(北電BESTが提供する太陽光発電設備の第三者所有モデルの別称)の契約を締結し、製造棟や倉庫棟の屋根に太陽光パネル3,084枚を設置しました。自家消費によって再生可能エネルギー電気を使用し、電力消費量の約6.5%を太陽光でまかない、年間648tのCO<sub>2</sub>削減となりました。(2025年3月~2026年2月)温室効果ガス排出削減を通じて脱炭素社会の実現および地域社会の持続的な発展に向けてさらに貢献することを目指しています。



CO<sub>2</sub>削減効果や発電電力を砺波工場1F  
ホワイトエのモニターにて確認できます。



### 「燃料電池自動車 MIRAI(ミライ)」を導入

脱炭素社会に向けた取組の一環として、トヨタ自動車の新型燃料電池自動車「MIRAI」を導入しました。当該車両は2代目FCEVの先駆け車両となります。水素と酸素を化学反応させて発電し、モーターを回転させて走行します。走行時に水のみ排出し、二酸化炭素や有害ガスを排出しないことから、脱炭素社会の実現に寄与することが期待されます。また、災害時には外部給電システムにより電気を供給する電源車として活用できるため、大規模災害の発生時には、製品を提供できる災害支援型自動販売機の電源としても利用可能となります。

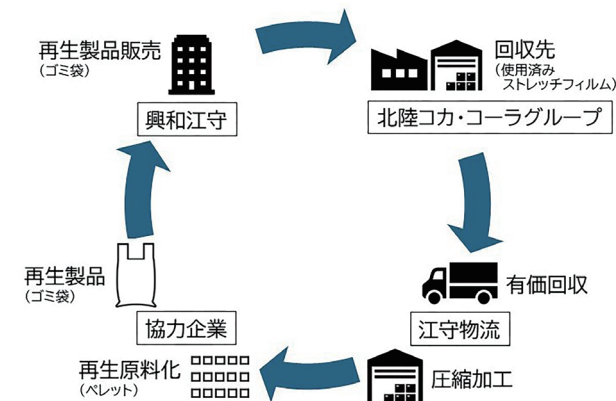


### 使用済みストレッチフィルムのリサイクルを開始

興和江守株式会社及び江守物流株式会社と協働し、使用済みストレッチフィルムのリサイクルを開始しました。

回収した使用済みストレッチフィルムは協業会社で再生プラスチック100%のゴミ袋へ再生され、そのゴミ袋を当社グループが購入し自動販売機横のリサイクルボックスで使用することで、ストレッチフィルムを焼却処分し、新品ゴミ袋を使用した場合と比較して年間 37.2tのCO<sub>2</sub>削減※が期待できます。

※毎月1t回収した場合の  
想定CO<sub>2</sub>削減量





## 人と社会 多様性の尊重( DEI ) / 地域社会 / 人権

私たちのすべての活動の中心には人々がいます。従業員からビジネスに関わるすべての方々、そして拠点を置く地域社会に至るまで、すべての人が重要です。地域社会との関わりを通じて、私たちは事業を展開する地域やビジネスにポジティブで具体的な変化をもたらすことができます。私たち一人ひとりが、より良い未来のために大きな影響を与えることができるのです。

### 男性育休取得率100%の継続

2023年より育児休業制度の利用促進に取り組み、男性従業員の育児休業取得率100%を継続しています。育児休業の取得が特定の属性に偏ることなく、性別に関わらず、グループでともに働く従業員が制度を利用できる職場風土の醸成を進めています。誰もが安心して育児休業を取得できるように、出生申請時には本人・上司・人事が連携して休業の取り方について話し合い、それぞれの状況に応じた最適な選択ができるよう支援しています。



育休取得率	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年計画
女性	100%	100%	100%	100%	100%	100%
男性	42%	81%	100%	100%	100%	100%

### 女性の健康と活躍推進

#### ～「我慢せずに休める」職場づくりを目指して～

女性が自分らしくキャリアを築ける環境を整えるとともに、性別やライフステージを問わず、誰もが安心して働き続けられる職場づくりの一環として、健康課題をサポートする体制を強化しています。



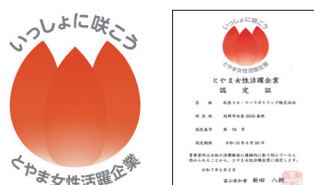
令和7年度  
とやま女性活躍企業 認定記念式典

#### 「とやま女性活躍企業」への認定

2025年、富山県より女性の登用や働きやすさの向上に取り組む企業として「とやま女性活躍企業」に認定されました。すでに取得している「くるみん認定」とともに、地域をリードする女性活躍推進企業としての歩みを進めています。

#### 新制度「FC休暇」の導入

法定の生理休暇とは別に、適用範囲を大幅に広げた特別休暇「FC休暇」を新設しました。月経前症候群(PMS)、不妊治療、更年期障害、心身の不調や体調不良時などに加え、男性従業員も利用可能とすることで、性別による壁を取り払い、誰もが「我慢せずに休める」職場環境を目指しています。



### LGBTQ+

#### 自立した個性の尊重と多様性の理解

従業員一人ひとりが性別や性的指向、性自認にかかわらず、互いに自立した個性を尊重し合い、差別やハラスメントのない働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。パートナーの性別や婚姻関係の有無にかかわらず、育児休暇や介護休暇を利用できる人事制度を整備するとともに、LGBTQ+に関する基本的な解説や歴史、アライとして必要な知識をまとめた「LGBTQ+アライのためのハンドブック」を作成し、他の企業・団体も活用できる形で無償公開するなど、社内外への啓発活動を推進しています。



LGBTQ+パレードに参加



職場におけるLGBTQ+への取り組み指標「PRIDE指標2024」にて最高評価「ゴールド」を3年連続受賞

### 地域と共に育む、誰もが自分らしく働ける職場を支えるユニフォーム

持続可能な社会の実現に向けて、人を大切にする経営を重要な基盤と位置づけています。誰もが自分らしく活躍できる職場環境を整えることが、地域社会とともに事業を継続していくために不可欠であるとの考えのもと、多様な人材が心身ともに健康で安心して働ける環境づくりに取り組んでいます。その一環として、地元企業と協働し、従業員の声を反映した新たなユニフォームを導入しました。本ユニフォームは、快適性や機能性に加え、性別・年齢・立場を問わず着用しやすい設計とし、心理的な安心感や帰属意識の醸成を図っています。また、長期使用を前提とした設計や修理・リユース、再資源化を通じて、環境負荷の低減と資源の有効活用にも取り組んでいます。これらの活動を地域と連携して進め、人と環境の双方に配慮した持続可能な社会づくりへの貢献を目指しています。



## オールジェンダー 誰でもトイレ

3事業所(高岡本社、砺波工場、松本LC)の多目的トイレを、ジェンダー問わず利用できるトイレへと変更しました。生まれ持った身体の性と心の性が一致しない人達等が気にせずトイレ空間を使用できるようにしました。

高岡本社 多目的トイレ



松本LC  
オールジェンダートイレ

さわやかパークの  
トイレにも設置



## 障がい者

### 全肢連への支援

コカ・コーラシステムでは、一般社団法人 全国肢体不自由児者父母の会連合会(全肢連)に対し、全肢連のステッカー付き自動販売機の売上金の一部を全肢連・県肢連の活動費として寄付するなど、1980年より45年以上にわたり支援しています。

### 特性、能力を発揮し輝ける環境

障がいのある方が働きやすい環境や長期的かつ安定的に活躍できる職場づくりを推進しており、法定雇用率を大幅に上回る雇用実績を有しています。障がい者雇用に取り組む企業の経営者や人事・労務担当者を対象とした障がい者雇用セミナーを開催するなど、共に働く人の多様性と受容性を尊重し、障がいのある方が働きがいをもち、特性、能力を発揮して、それぞれに輝ける環境の実現を目指しています。



2025年3月24日には、障がい者の雇用に積極的に取り組む企業として富山県より「とやま障害者フレンドリー企業」に認証されました。障がいの有無にかかわらず多様性と受容性を尊重し、本人の特性や能力が最大限に発揮できる業務設計・支援体制(配慮のある配置、合理的配慮、職場教育・支援)を整え、誰もが輝ける職場を目指します。



## 人権

人権の尊重は、ザ コカ・コーラ カンパニーの企業活動の基本です。北陸コカ・コーラも自社だけでなくサプライチェーン全体でも人権を尊重する取り組みを進めています。より持続可能なビジネスを実現し、人々の生活や地域社会、そして地球に良い影響を与えることを目指して運営しています。

### 人権に関する方針

北陸コカ・コーラは、従業員、サプライヤー、各ボトラー社との関係において、国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づき、人権の尊重と促進に努めています。当社の人権方針は、ザ コカ・コーラ カンパニー、その所有する事業体、過半数の株式を保有する事業体、そして当社が管理する施設に適用されます。

### サプライヤー基本原則

人権方針の原則は、「サプライヤー基本原則」を通じて、私たちのサプライチェーン全体に適用されています。これにより、各ボトラー社を含む製品やサービスを提供する企業にも、私たちが求める価値観や基準に従うことが求められます。

## 公益財団法人 稲垣小太郎記念奨学財団

2005年3月1日に創設者である稲垣 小太郎の30回忌を記念して設立した当財団では、青少年の向学の志にできる限りの援助の手をさしのべ、富山県教育振興と地域社会にお役に立てればと考え、これまでに144名の富山県内高等学校出身の学生に奨学援助を行っています。



## 公益財団法人 コカ・コーラ教育・環境財団奨学金

心豊かでたくましい人づくり(Healthy Active Life)を理念とし、環境教育、教育支援を柱として、次世代を担う青少年の育成を通じ、豊かな社会の形成を目指しています。このうち、奨学支援では、大学在籍中の支援を行い、これまでに1966年度に第1期生を採用して以来延べ242名の奨学生を採用しています。なお、2021年度からは環境、特に地球・環境資源関連領域に関して、より専門的な研究を行う大学生の大学院進学も対象としています。

給付金額  
大 学 生：月額20,000円  
大 学 院 生：月額40,000円  
<https://www.cocacola-zaidan.jp/index.html>



## 災害協定

本業を通じた社会貢献として、災害時における飲料提供協力などに関する自治体との協定をもとに、優先的な飲料の提供や、災害支援自動販売機の設置を進めています。この災害支援自動販売機は、遠隔操作でも自動販売機内の飲料を無料で取り出すことが可能で、自動販売機ならではの機能を活用した支援を行っています。



### 【災害協定締結状況】

協定締結自治体・団体数	設置台数	
長野県	39	122
富山県	17	136
石川県	22	180
福井県	7	37
合計	85	475

2025.12.31現在

## 長野県立子ども病院支援自販機（信州）

長野県内唯一の小児専門病院である長野県立子ども病院は2015年度から高度専門医療や人材育成の事業支援のために子ども病院寄付プログラムを開始しました。

当社はその主旨に賛同し、2017年4月に長野県立子ども病院にはじめて支援自販機を設置し、2025年3月現在では33社161台まで展開しています。寄付金は未来ある子どもたちの療養環境の整備に役立てていただいています。



### 【支援金額実績】

	支援金額
2017年度	196,457 円
2018年度	536,353 円
2019年度	520,521 円
2020年度	444,496 円
2021年度	510,245 円
2022年度	664,411 円
2023年度	735,921 円
2024年度	845,360 円
2025年度	1,003,160 円
合計	5,456,924 円

## 清掃ボランティア活動

### 社員一斉美化奉仕活動

1979年より、地域社会への貢献と環境美化意識の向上を目的とし、毎年グループ社員が一斉に参加して主要道路や公園、海岸、河川敷など約22ヶ所の清掃活動を実施しています。

### 各地に広がる清掃活動の輪

地域の皆さんと連携し、各事業所でも継続的に取り組んでいます。

- 富山県では六渡寺自治会や地元ボランティアグループ「六友会」とともに、射水市の六渡寺海岸での海岸清掃に社員有志で参加しています。
- 道路沿いの除草・清掃作業に参加しています。



## 地域スポーツへの支援

スポーツシーンのトップに位置する地域スポーツチームへの応援を通じて、地域へ感動や希望、笑顔を届ける活動を行っています。各スポーツチームへは、コカ・コーラ社製品を通じてさわやかさと、活力・希望を提供し、支援機能付き自動販売機の売り上げの一部を、チームの活動資金として寄付しています。

### サッカー



- 
**1** **カターレ富山**  
 設立 2007年  
 クラブ所在地 富山県富山市
- 
**2** **富山新庄クラブ**  
 設立 1968年  
 クラブ所在地 富山県富山市
- 
**3** **ツエーゲン金沢**  
 設立 1956年  
 クラブ所在地 石川県金沢市
- 
**4** **福井ユニテッドフットボールクラブ**  
 設立 2019年  
 クラブ所在地 福井県福井市
- 
**5** **松本山雅FC**  
 設立 1965年  
 クラブ所在地 長野県松本市
- 
**6** **AC長野パルセイロ**  
 設立 1990年  
 クラブ所在地 長野県長野市
- 
**7** **AC長野パルセイロ・レディース**  
 設立 2000年  
 クラブ所在地 長野県長野市



### バスケットボール

- 
**1** **富山グラウジーズ**  
 設立 2006年  
 クラブ所在地 富山県富山市
- 
**2** **福井ブルーウィングス**  
 設立 2022年  
 クラブ所在地 福井県福井市
- 
**3** **信州ブレイブスウォーリアーズ**  
 設立 2020年  
 クラブ所在地 長野県長野市

### バレーボール

- 
**1** **KUROBEアクアフェアリーズ富山**  
 設立 2017年  
 クラブ所在地 富山県黒部市
- 
**2** **VC長野ライデンツ**  
 設立 2008年  
 クラブ所在地 長野県南箕輪村

### ハンドボール

- 
**1** **富山ドリームズ**  
 設立 2020年  
 クラブ所在地 富山県氷見市
- 
**2** **アランマーレ富山**  
 設立 2016年  
 クラブ所在地 富山県射水市
- 
**3** **ハニービー石川**  
 設立 1975年  
 クラブ所在地 石川県金沢市
- 
**4** **福井永平寺ブルーサンダー**  
 設立 2022年  
 クラブ所在地 福井県永平寺町

### 野球

- 
**1** **富山GRNサンダーバース**  
 設立 2006年  
 クラブ所在地 富山県高岡市

## アウトリーチプログラム

### 学校への出前授業 富山県中学生ものづくり事業

富山県のものづくり人材の育成を目指し、県内の中学生に「学ぶおもしろさ」、「学びへの挑戦」を体験してもらい事業に北陸コカ・コーラも参加しています。少子化 や「理科離れ」が課題となる中、2025年度は富山県内の中学校19校で約1,100名の学生に対し、ものづくりの魅力や将来の進路を考えるにあたって、中学生のうちに身に着けて欲しいことなどを、講師の体験談を交えながら講義を行っています。



### 水分補給セミナー

正しい水分補給の方法や熱中症のメカニズムをお伝えし、熱中症予防に役立てていただくために、お取引企業を中心に水分補給セミナーを開催しております。お取引企業に限らず、学校、施設、スポーツクラブ、障がい者支援施設などにも出張し、地域の皆さまの健康づくりのサポートを進めています。また、オンラインでの講座も開催しています。



### 株式会社セブン-イレブン・ジャパンと協働授業

株式会社セブン-イレブン・ジャパンと協働で、富山第一高等学校の文化祭にて出張授業を実施しました。この取り組みは、CO<sub>2</sub>やプラスチック削減の重要性について学び、持続可能な社会づくりを目指す未来世代の意識向上を図ることを目的としています。別ブースにて体験コーナーを設け、ペットボトル分別チャレンジやペットボトルリサイクルスキームの展示から、プラスチック削減やCO<sub>2</sub>削減の大切さを伝えました。



### 池田模範堂社と神明小学校親子活動へ参加

池田模範堂社と協働で神明小学校4年生の親子45名に特別授業を行い、水についての講座、水のろ過実験や飲み比べを実施しました。



## 地域貢献活動

### 北陸コカ・コーラ サマーフェスティバル

2025年8月24日(日) @ 北陸コカ・コーラ砺波工場

日頃お世話になっている地域のみなさまに感謝の気持ちを込めて、工場の敷地を開放したサマーフェスティバルを毎年8月末に開催しており、夏の2025年のテーマは「となみいいものまつり」

砺波の美しい水を使ったワークショップや、地元伝統工芸の体験、クラフト雑貨の販売、地元グルメが楽しめる飲食ブースなど、地域の魅力を存分に味



わえる内容を展開しました。特別企画の「打ち水大作戦」やフィナーレの「ふる里盆踊り」では、夏の涼と地域のつながりを感じることができました。

地域のみなさまをはじめ、約7,000名の方々にご来場いただき、笑顔あふれる一日となりました。



イベント当日の様子は  
こちらからご覧いただけます



### TOYAMA GROOVE PARK 2025

2025年9月13日(土) @ 富山城址公園

「TOYAMA GROOVE PARK 2025」では、私たちが提供するリフレッシュメントを通じて、音楽と地域の魅力がひとつになる特別な一日をお届けしました。

エンターテインメントと地域の魅力を融合し、富山のにぎわい創出につなげようと当社主催で初開催し、約7,500名の方々にご来場いただきました。



## 能登半島地震への対応

2024年(令和6年)1月1日16時10分、マグニチュード7.6、石川県輪島市と羽咋郡志賀町で最大震度7を観測する能登半島地震が発生しました。発生当日より各行政から飲料水の要請があり、翌日2日に危機管理委員会を立ち上げ対応にあたりました。これまでに累計77万本の「い・ろ・は・す」「綾鷹」「アクエリアス」を支援物資として提供しています。(2024年12月末現在)



支援物資の拠点となった石川県産業展示館へ飲料を配送

また、6月には売上1本につき10円が石川県を通じて義援金として被災者のもとに届けられる「酒場の檸檬堂 能登復興応援ボトル」を発売し、全国の飲食店で採用いただいています。



酒場の檸檬堂 能登復興応援ボトル  
義援金実績

2024年	972,960円
2025年	2,397,360円
計	3,370,320円

その他、被災地の皆さんにほっと一息ついていただくようジョージアのサンプリングを道の駅や仮設住宅等で実施。12月には輪島マリンタウンにてクリスマスマジックツリーイベントを実施しました。



災害時、人的操作で機内の飲料を搬出することができる災害対応型自動販売機は昨年の能登半島地震で70台がフリー稼働し、約13,000本を無償提供しました。お取引先からのニーズも多く主にキースイッチ型を増やし、現在2,230台を設置しています。(2025年12月現在、エリア4県計)



## コカ・コーラシステムからの寄付

- 米国コカ・コーラ財団 から 4,500万円
- 公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団 から 2,200万円

を被災地域、特に能登半島で医療サポートを提供している特定非営利活動法人ジャパンハートに寄付しました。

コカ・コーラシステムからの義援金1,000万円と、当社から拠出した1,000万円、合わせて2,000万円の基金を作り、半分を被害の大きかった社員に支給しました。残りの半分は、災害により多くの困難に直面している子どもたちが安心して学び、成長していける環境を取り戻せるよう、

- 珠洲市教育委員会へ 500万円
- 輪島市教育委員会へ 500万円

を少しでもお役に立ちたいという思いで寄付しました。



## GRN エコサイクル社が災害復興支援に協力

### 震災がれき選別／運搬支援

GRNエコサイクル社では石川県資源循環協会と連携し、震災がれきの集積場での選別作業に延べ8名が支援しました。また、被災家屋の解体で発生するがれき処理が進まないことを受け、震災がれきの運搬事業にも着手しています。



### 避難所のペットボトル回収

避難所15カ所のペットボトル回収について自治体から依頼を受け、被災地のペットボトル等の回収を行いました。また、震災当時に輪島市から孤立していた門前地区で飲料容器の無償回収を実施しました。

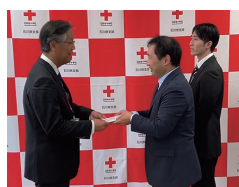


### 回収した社員によるレポート

被災地のペットボトル等の回収へ向かえたのは震災から16日後。道路が分断されていたり、倒木による通行止めや液状化により、思うように運搬車が進めない状態でした。やっとの思いで資源集積場に行ったところ、ペットボトルが綺麗になっている状態を見て、胸が詰まりました。そして、「来てくれてありがとう」と何度もおっしゃってくださる姿に本当に涙が出る思いでした。

### 被災地ボトルで環境と社会の復興プロジェクト

- 被災地で出たペットボトルを再利用してバッグを作り、クラウドファンディングでバッグを販売して得た売上金を義援金として寄付する震災復興プロジェクトにGRNエコサイクル社が参加しました。
- 約270万円を売り上げ、そこから経費を引いた115万6,240円を日本赤十字社石川県支部に義援金として寄付しました。



## 日本コカ・コーラ LOVE HOKURIKU 復興支援プロジェクト

日本コカ・コーラ(東京都渋谷区)では「LOVE HOKURIKU」という復興支援プロジェクトが立ち上げられ、日本コカ・コーラのカフェテリアでは、“北陸応援ランチフェア”を開催し、その収益金を災害に見舞われた被災地に寄付しました。

2025年10月には輪島中学校にてキャリアセミナーを実施し、将来に向けキャリア選択の一助となるよう様々な経歴をもったコカ・コーラ社員が講師を務めました。

また、2025年7月、11月には被災地でのボランティア活動にも参加しています。



### 社員によるボランティア



能登半島地震で地元の七尾市が被災し、少しでも力になれることがあればとの思いでボランティアに参加しました。被災した家屋の家財出しやブロック塀の解体、倒壊した土壁の回収など様々な活動をさせていただきました。



能登に生まれ、青春時代のすべてをこの地で過ごしてきました。2024年元旦に発生した能登半島地震では、実家が一部損壊し避難所で一夜を過ごす経験もしました。そのような中、LOVE HOKURIKUにお誘いいただいたのがきっかけで参加しました。11月15日は、不動寺公民館にて清掃活動を行いました。旧小学校であり震災前には毎年音楽祭が開催されていましたが、今回震災後初となる音楽会を再開することとなり、その準備として清掃のお手伝いをしました。当初は一日で本当にきれいになるのか不安もありましたが、参加者全員で協力し合い、想像以上にきれいな状態にすることができました。また、残っていた備品を活用してクリスマスツリーを作成しました。館長さんにも大変喜んでいただき、心に残る活動となりました。復興はまだまだ半ばで、支援が十分に行き届いていない状況ではありますが、今後も積極的に支援活動に参加していきたいと考えています。





# 健康とウェルビーイング 持続的成長を支える基盤

お客様に満足と「さわやかさ」を提供し続けるため、社員の健康とウェルビーイングを人的資本の重要な要素と位置づけています。社員一人ひとりが心身ともに健康で高いワークエンゲージメントを発揮できる環境が、事業活動の基盤であるとの考えのもと、計画的かつ効果的な健康経営を推進しています。

## 健康が全ての基盤

従業員の健康がすべての基盤であるとの認識のもと、「従業員および家族の心身の健康保持・増進」および「健康で快適な職場環境の形成」を目的に健康経営に取り組んでいます。

社員の健康への経営的な取り組みが評価され「健康経営優良法人(大規模法人部門)」に6年連続で認定されました。



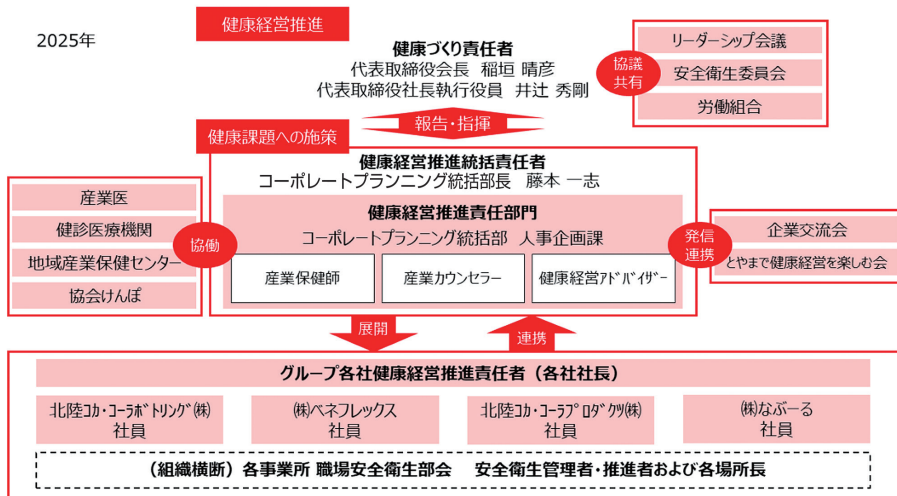
## 一 双爽グループの健康宣言

働く喜びが実感でき、元気ある企業を目指します。従業員の健康がすべての基盤であるとの認識のもと、健康管理を経営的な視点でとらえ、企業活動の一環として戦略的に取り組んでいくことを宣言いたします。

## 健康経営戦略マップと当社の取り組み

お客様に満足と「さわやかさ」を提供し続けるため、社員の健康とウェルビーイングを人的資本の重要な構成要素と位置づけています。健康が事業活動の基盤であるとの認識のもと、計画的かつ効果的な健康経営を推進しています。健康経営戦略マップでは、社員の健康状態とワークエンゲージメント、生産性との関係性を整理・可視化し、健康施策と経営戦略が連動する仕組みを構築しています。社員一人ひとりの健康課題と対応施策を明確にすることで、取り組みの方向性と優先順位を共有しています。こうした考え方のもと、ワークエンゲージメントの向上や心身の健康リスクへの対応を通じて、生産性の向上と持続的な企業価値の創出を目指しています。具体的には、職場環境の健全性向上、プレゼンティズムおよびアブセンティズムの低減を重要な指標とし、ワークエンゲージメントスコア65点以上、ハイリスク者割合15%以下などの数値目標を設定し、健康経営の実効性向上に継続的に取り組んでいます。

健康経営に関する外部評価や認定制度も活用しながら、社会からの期待に応える取り組みを進めています。



健康課題		健康投資		健康投資効果		健康経営の目標	経営方針
		健康投資実施の取組み状況に関する指標	健康投資効果に関する指標	健康投資効果に関する指標	健康経営の最終的な目標		
ワークエンゲージメント 57点	様々な課題に際しては、組織と個人が互いに支え合える環境づくりを推進する	双爽構内の関係(7社)の参加率 60%	双爽構内の関係(7社)の参加率 60%	「組織との関係」向上 60点 ※組織別平均	ワークエンゲージメント 65点	リフレッシュメントの提供を通じて地域社会と深く結びつき、お客様に満足と「さわやかさ」をお届けする	健康経営の推進方針
2N/3E/7 高リスク者の割合 26.1%	心と体の健康課題に対応する専門職	CokeONを活用した「ケアラボ」の導入 100%	参加率/参加者数 50%	CokeONの活用率/参加者数 前年+10%	職場環境の健全性 60点 ※組織別平均	すべての人の多様性を尊重し、一人ひとりが持つ特性や強みを最大限に発揮できる	健康経営の推進方針
ハイリスク者割合 21.3%	仕事と生活の両立を支援する人事制度	安全衛生定例会 100%	安全衛生定例会 100%	労働災害・熱中症発生率 0%	フレキシブルな働き方 10%		
職人研修受講率 参加率23.3% 受講率15.6%		「トイ」を活用した、スキル習得支援 100%	スキル習得支援対応率 100%	職場ストレス/倦怠感割合 ▲10%	アブセンティズムの低減 1.5日		
		産業保健師による、ハイリスク者対応 100%	ハイリスク者対応率 100%	二次健診率 100%			
		地域と連携した、特定保健指導 65%	特定保健指導実施率 65%	指導内容継続率 80%			
		女性特有の健康課題の認知と相談体制 80%	女性特有の健康課題の認知率 80%	女性特有の検診受診率 50%			
		家庭と仕事の両立支援 100%	男性育休/介護休暇実施率 100%	男性育休実施率 100%			
		ワークライフバランスに関する研修 100%	FCI研修受講人数 月5人以上	FCI研修受講率 70%			
		健康経営取り組み認知度 90%	健康経営取り組み認知度 90%	産業保健師の配置 「ケアラボ」の活用	上司による支援行動 4.0 ※組織別平均		
		健康経営の推進状況	健康経営の推進状況	方針実現のための体制/環境	サポート組織の連携		

健康経営戦略マップで整理した課題と目標に基づき、当社では以下の施策を通じて、社員の主体的な健康づくりと、持続可能な職場環境の実現に取り組んでいます。当社の健康経営は、社員の健康保持・増進にとどまらず、地域社会との連携を通じて、より広いウェルビーイングの向上につながる取り組みへと発展しています。

■ 心の健康・関係性を支える取り組み "双爽横丁" (マネジメントとの意見交換会) の開催

マネジメントと社員が立場を超えて率直に意見を交わす対話の場として、「双爽横丁」を開催しています。職場環境や働き方、健康に関する課題や気づきを共有することで、相互理解を深め、風通しの良いコミュニケーションの促進と心理的安全性の向上を図っています。こうした対話を通じて、職場課題の早期把握や具体的な改善提案が生まれており、管理職・社員双方の相互理解の深化や、より健全な職場関係づくりにつながっています。



■ 身体の健康を支える取り組み

若年層・現役世代を対象としたウォーキングイベントによる行動変容の促進と、シニア層に配慮した安全かつ継続可能な運動支援を組み合わせ、年齢特性に応じた健康施策を展開しています。



■ CokeONウォークイベントの実施

2022年より、Coke ONアプリを活用した社内ウォーキングイベントを年2回実施しています。運動習慣の定着と健康意識の向上を目的に、地域の企業・団体とも連携しながら継続してきました。歩数やミッションを用いたゲーミフィケーションにより、楽しみながら自発的な行動変容を促しています。加えて、社員同士の交流を促進し、組織の一体感向上にも寄与しています。



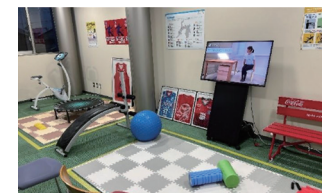
■ シニア向け運動教室の開催

高齢社員の健康維持と再雇用促進を目的に、55歳以上の社員を対象とした社内運動教室を就業時間内に実施しています。協会けんぽ派遣のスポーツインストラクターを講師に迎え、座位で行える安全性に配慮した体操を中心に実施しています。健康不安の軽減や健康寿命の延伸に加え、参加者の継続意欲も高く、活気ある職場づくりに寄与しています。



■ スポーツ活動支援による健康増進

スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー」に認定されています。社内のスポーツマーケティング組織と連携し、社員の運動機会の拡大や地域・企業との共催イベントを通じて、健康増進と地域活性化に取り組んでいます。今後は観戦イベントや選手のセカンドキャリア支援など、スポーツを通じた支援の幅を広げ、社員の主体的な健康づくりと交流促進につなげていきます。



■ 支援体制・職場環境の整備 専門職の配置と支援体制の強化

従業員の健康支援体制の強化を目的に、産業保健師をはじめとする専門職を配置しています。産業保健師は、産業医との連携のもと、健康方針に基づく施策の実行や健康診断結果のフォローに加え、日常的な健康相談やメンタルヘルス支援にも対応しています。また、月経や更年期など女性特有の健康課題についても安心して相談できる体制を整備し、不調の早期把握や就労継続意欲の向上、パフォーマンス低下の防止につなげています。こうした支援を通じて、予防から継続的なフォローまでを一体的に行い、健康リスクの低減と安心して働き続けられる職場環境づくりを推進しています。



■ 社会とのつながりを育む取り組み 地域の皆様との健康に関する勉強会の開催

地域社会との連携を重視し、健康をテーマとした勉強会を地域の皆様とともに開催しています。「とやまで健康経営を楽しむ会」に協賛・参加し、一般社団法人北陸予防医学協会の発起により、県内外の経営者や人事・総務担当者、産業保健師が当社オフィスに集い、事例共有やディスカッションを実施しています。社員と地域が学び合い、交流を深める場を通じて、地域全体のウェルビーイング向上と持続可能な社会の実現に貢献しています。



## 日本のお客様の多様なニーズに応える製品ポートフォリオ 適正飲酒／トクホ・機能性表示食品

コカ・コーラシステムの事業活動は、「いつでも、どこでも、誰にでも」おいしい飲料をお客様にお届けしたいという願いとともに世界に広がり、その願いは「コカ・コーラ」の誕生から140年経過した今も受け継がれています。日本のコカ・コーラシステムは、炭酸飲料をはじめ、茶系飲料、スポーツ飲料、水など幅広いカテゴリーにおいて、お客様のライフスタイルや嗜好に寄り添った製品を展開しています。

炭酸飲料 21%



茶系飲料 25%



コーヒー飲料 25%



水 8%



スポーツ飲料 9%



果汁飲料 5%



エネルギー飲料、アルコール飲料を含む その他 7%



※小数点以下は四捨五入で表記。※北陸コカ・コーラボトリングの製品ポートフォリオ。2025年12月数量ベース。北陸コカ・コーラ調べ。

### 『健康』に着目したトクホ・機能性表示食品

コカ・コーラシステムは、市場やお客様の健康志向ニーズにいち早く応え、革新的な製品を開発・発売してきました。今後トクホ(特定保健用食品)・機能性表示食品の拡充を図り、多くのお客様にご飲用いただける製品を提供してまいります。

### 適正飲酒のための取り組み

日本コカ・コーラは、適正飲酒の啓発のために、責任を持って自社アルコールブランドのマーケティング活動を行っています。適正飲酒啓発やお酒と健康に関する情報発信など、アルコールの有害な使用の低減および防止に向けて、お客様に適切な情報を提供するように努めています。

## 北陸コカ・コーラプロダクツ(株) 砺波工場

### 品質・食品安全

豊かな自然に抱かれた砺波工場では、大型・小型兼用無菌ライン、缶ライン、PETライン、ガラスびんラインの計5ラインを備え、80種類以上の製品を製造できる体制を整えています。原材料の納入から製品出荷まで、すべての製造工程において、製品の品質と安全性を守るために、厳しく定めた独自の品質管理を行っています。また、砺波工場は、品質マネジメントシステムの規格「ISO9001」、環境マネジメントシステムの規格「ISO14001」および食品安全システムの規格「FSSC22000」や 労働安全衛生マネジメントシステムの規格「ISO45001」の認証を受けています。

### ゼロ・エミッションに向けての取り組み

大気や地下水など、周辺の環境にあたる環境負荷低減および温室効果ガス(CO<sup>2</sup>)削減のため、工場の燃料は大気を汚染する物質が少ないLPガスを使用しています。

また、工場内の省エネにも努め、廃棄物排出ゼロに向けて積極的に取り組んでいます。

### 厳密な衛生管理

製品の製造工程で菌の混入を防ぐ無菌充填設備の導入をはじめ、製造ラインや使用器具の定期的な洗浄・殺菌はもちろん、工場働く従業員の健康状態もチェックするなど、すべてにおいて衛生管理を徹底し、常に清潔な状態が保たれています。

### 工場での太陽光発電

砺波工場では、2013年から屋根の一部を貸し出し太陽光発電事業に協力しています。さらに広大な工場の屋根を活用して製造棟や倉庫棟の屋根に太陽光パネル3,084枚を設置し、自家消費によって再生可能エネルギー電気を使用しています。電力消費量の約6.5%を太陽光でまかない、年間648tのCo2削減となりました(2025年3月~2026年2月)。温室効果ガス排出削減を通じて脱炭素社会の実現および地域社会の持続的な発展に向けてさらに貢献することを目指しています。



### エレクトロン・ビーム殺菌

砺波工場では、洗浄水と薬剤を使わずエレクトロン・ビーム(電子線)でPETボトルの殺菌を行う製造ラインを2011年に全世界のコカ・コーラ工場ですべて初めて導入し、水の使用量を大幅に削減することに成功しました。



### 水資源管理の推進

庄川水系の良質な地下水に恵まれた砺波工場では、工場での製造工程における水の使用量の管理を徹底しています。製品殺菌工程で使用した温水を冷却し再利用する「冷却水節水システム」を導入し、水使用を少なくした生産ラインの導入など水使用量の削減に積極的に取り組んでいます。

利用された水は最終的に排出処理設備を通し、微生物を使う「活性汚泥法」で処理され、環境への負荷が少ない方法で河川に放流します。その際の水質については、水質汚濁防止法や条例を遵守することはもちろん、排水量を削減し、よりきれいな水を自然に還せるよう努めています。

### 高品質の水づくり

水は私たちコカ・コーラの命の源。コカ・コーラシステムの水質に関する基準は、世界保健機関(WHO)の分析項目ならびに分析値を取り入れています。砺波工場でも、ザ コカ・コーラカンパニーが世界共通で定めている基準と日本国内の水道法や水質基準と照らし合わせて、より厳しい基準値を採用しています。

自ら課した厳しい基準値のもと、多様な工程を経て高品質の水につくり替える。この厳しい水処理工程を私たちは「水をみがく」と呼んでいます。

## 砺波工場 見学のご案内

**所在地** 北陸コカ・コーラ砺波工場 〒939-1401 富山県砺波市東保1202-1  
 ● 砺波ICより…車で約15分 ● 高岡砺波スマートIC(ETC専用)より…車で約5分

**実施曜日** 火・水・木 10:00～/13:30～ (2026年6月1日より曜日が変更となりました。)  
 ※アップサイクルを学ぶランプづくり+工場見学については、13:30～の1回のみ

**ご予約方法** 工場見学をご希望の方は、予約カレンダーからWEB予約によりお申し込みください。

砺波工場見学  
予約ページへ



**駐車場** 普通車 30台、大型バス 2台(中型バスの場合3台)  
 ご来場手段(乗用車・バス)によって、入口が異なります。ご確認の上ご来場くださいますようお願いいたします。

**見学コース** 2つのコースをご準備  
 A. 工場見学 約50分(工場概要説明、製造工程見学、コカ・コーラ製品の試飲)  
 B. アップサイクルを学ぶランプづくり + 工場見学 約100分

- 定員 / 20名
- 対象 / 中学生以上  
(小学生以下のお客様は親子での参加が条件となります)
- 予約受付 / 予約希望日の7日前まで
- 料金 / Aコース…無料  
Bコース…1,000円(税込)  
(自動販売機有料) ※お土産付き



Bコースに新設!!  
【コーヒーかす】を  
再利用した  
ランプづくり体験



## 水の日工場見学の 実施

2025年8月1日、富山県内の小学生14名に大切な資源である水について学び、関心を高めてもらうために「水の日工場見学」を開催しました。



## 地元の子もたちとの 交流イベント

砺波工場近くのこども園の年長児さんが昨秋植え付けたチューリップの球根がきれいな花を咲かせ、その花を描くイベントを毎年開催しております。



## 北陸コカ・コーラ さわやかパーク

砺波工場の隣にある北陸コカ・コーラ さわやかパークは、北陸コカ・コーラボトリング株式会社創立50周年を記念してつくられた“緑あふれる憩いの公園”です。季節に合った色とりどりのお花を楽しむことができる、地域の皆さんに親しまれる公園を目指しています。

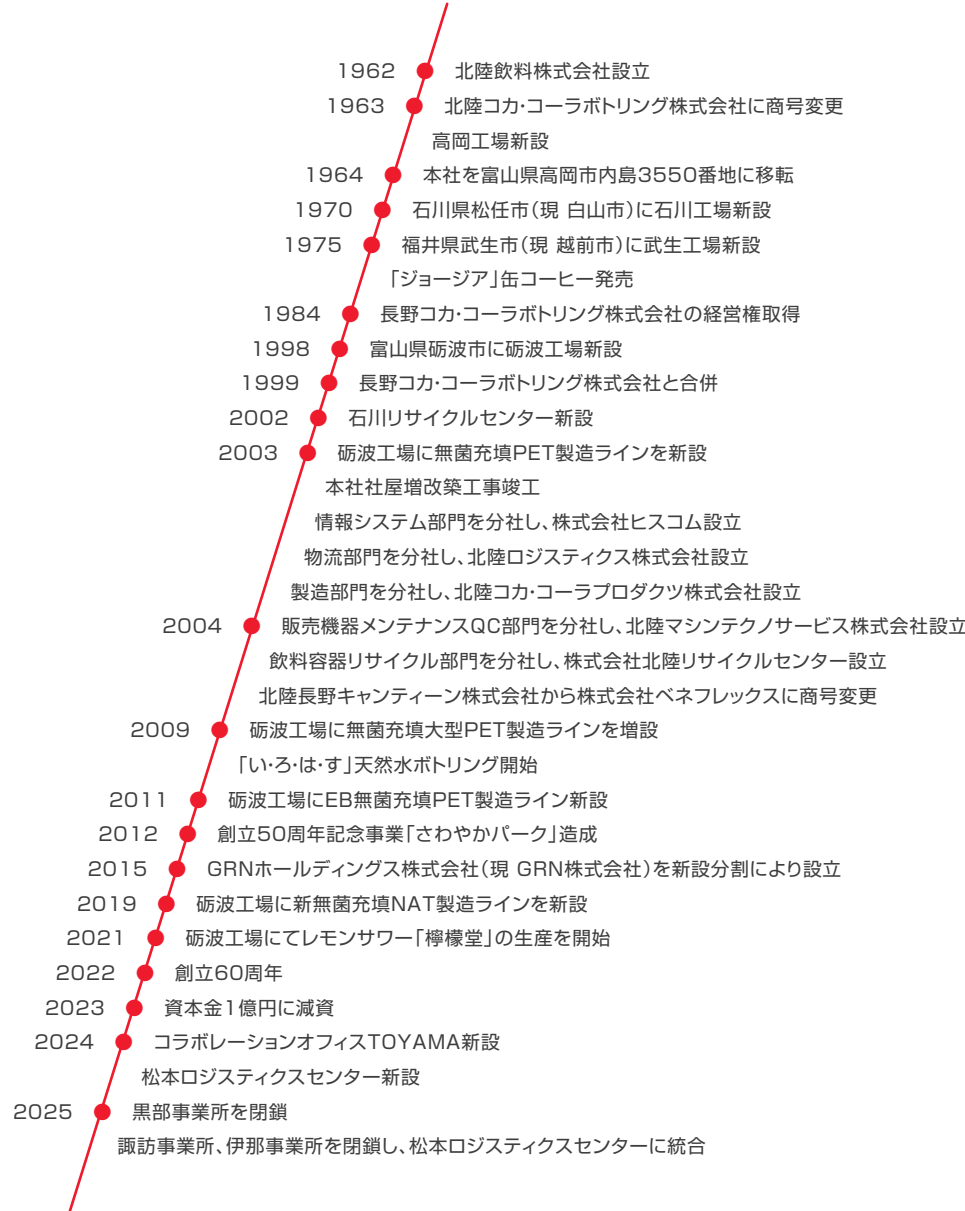
富山県砺波市東保1202-1 [利用時間/9:00~17:00]  
 専用駐車場有り ●開園時間帯は常時駐車できます(予約不要)



さわやかパークに「だれでもトイレ」を完備。気軽にお越しください。



北陸コカ・コーラボトリング株式会社 沿革



▼ 詳細はこちら



当社の活動は ホームページ・  
Instagram・X・YouTube  
からもご覧いただけます



ホームページ



Instagram



X



YouTube



アンケートにご協力をお願いします

サステナビリティレポートをご覧いただきありがとうございます。内容について、皆さまのご意見をお聞かせください。当社の今後の活動に役立てて参ります。



▶ click <https://forms.cloud.microsoft/r/RLUGVUuXpV?origin=jprLink>



北陸コカ・コーラボトリング株式会社

COPYRIGHT© Hokuriku Coca-Cola Bottling Co.,Ltd.